



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
理、貿易業務担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	105,824	0.1	7,926	△1.6	8,412	0.8	5,784	2.9
2023年3月期	105,709	4.6	8,052	13.3	8,342	9.8	5,621	9.5

(注) 包括利益 2024年3月期 7,005百万円 (25.9%) 2023年3月期 5,564百万円 (6.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	169.42	167.31	7.2	8.4	7.5
2023年3月期	164.34	—	7.3	8.7	7.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	102,701	84,284	80.1	2,410.12
2023年3月期	98,188	79,704	79.4	2,283.42

(参考) 自己資本 2024年3月期 82,283百万円 2023年3月期 77,958百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,377	△1,309	△2,726	54,187
2023年3月期	7,121	△304	△2,860	52,639

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00	2,219	39.6	2.9
2024年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00	2,560	44.3	3.2
2025年3月期 (予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		45.5	

2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 5円00銭

(注) 2024年3月期における1株当たり期末配当金については、35円から40円に変更しております。詳細については、本日 (2024年5月9日) 公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	54,100	4.3	4,450	4.3	4,500	2.6	2,950	0.6	86.41
通期	110,000	3.9	9,000	13.5	9,100	8.2	6,000	3.7	175.74

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	37,375,636株	2023年3月期	37,375,636株
2024年3月期	3,234,699株	2023年3月期	3,234,655株
2024年3月期	34,140,944株	2023年3月期	34,204,732株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	96,235	0.1	6,808	△3.6	7,361	△8.1	5,210	△8.7
2023年3月期	96,149	5.4	7,064	10.7	8,008	14.9	5,709	16.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	152.61	150.71
2023年3月期	166.92	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	93,968	77,279	81.9	2,254.48
2023年3月期	90,390	73,673	81.4	2,153.95

(参考) 自己資本 2024年3月期 76,970百万円 2023年3月期 73,537百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,700	5.3	3,850	△1.5	2,650	△2.8	77.62
通期	101,000	5.0	7,800	5.9	5,350	2.7	156.70

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提や計画に基づく予測が含まれており、経済及び業界の動向・価格競争・為替レートの変動等にかかるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する情報は5ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
4. 個別財務諸表及び主な注記	19
(1) 貸借対照表	19
(2) 損益計算書	21
(3) 株主資本等変動計算書	22
5. その他	24
(1) 役員の変動	24
(2) その他	24

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益	自己資本当期 純利益率(%)
2024年3月期	105,824	7,926	8,412	5,784	169円42銭	7.2
2023年3月期	105,709	8,052	8,342	5,621	164円34銭	7.3
増減率(%)	0.1	△1.6	0.8	2.9	—	—

<連結経営成績に関する定性的情報>

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、人流の増加やインバウンド需要の回復などにより、経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化、中国経済の低迷、物価の上昇や急激な為替変動などにより、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループが身をおく流通業界においても、原材料費・物流費・人件費をはじめとする各種コストの上昇、電気代や生活必需品などの物価上昇による生活防衛意識の高まりに加えて、春の天候不順や暖冬といった気候変動要因により季節商品の需要が低下するなど、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の下、当社グループでは、収益体質の維持を目的に、より収益性の高い商品の開発および調達に絞り込みを行い、経営理念に掲げる「つぶれないロマンのある会社づくり」を推進してまいりました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高105,824百万円(前期比100.1%)、売上総利益29,884百万円(前期比104.2%)、営業利益7,926百万円(前期比98.4%)、経常利益8,412百万円(前期比100.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益5,784百万円(前期比102.9%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

扇風機や暖房機などをはじめとする季節商品が、春の天候不順や暖冬といった天候要因により需要が低下したことで販売が前期を下回り苦戦した一方で、事業部横断で商品提案に取り組む均一価格ショップへの販売は、服飾雑貨や日用雑貨、消耗品や菓子などの食品へカテゴリーが拡大し販売が好調に推移いたしました。

また、アパレル関連ではライセンスブランドを用いたアパレルや服飾雑貨の展開により、販路の深耕や拡大が奏功したことで販売が伸長いたしました。キッチン雑貨においても、前期は円安影響により販売が弱まっていた定番展開の「エバークック」も、商品調達の対応を終え売場も広がっていることで好調に回復の兆しが見られます。その他、引き続き、LEDシーリングなどの照明関連や食品の値上げが続く中でOEM企画の食品の販売も好調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は56,879百万円(前期比103.8%)、セグメント利益5,085百万円(前期比128.8%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

有名ブランド関連では、スマートウォッチ、アクセサリ、インバウンド需要向けに展開しているスーツケースの販売が好調でした。また、「STANLEY」などの自社で運営を行うブランド公式サイトが複数立ち上がり今後に向けての期待が持てる一方で、ブランドバッグおよびブランド時計のカテゴリーは調達コスト上昇の影響により販売が苦戦いたしました。

NB加工では、アミューズメント関連において、ゲームセンターやアミューズメント施設向けの景品として展開する、人気ゲームのキャラクターを使用した商品などの販売が好調でした。中元・歳暮関連では、自社オリジナル企画のブランドスイーツや、食料品の値上げの中で素麺などのギフトの販売が好調でした。しかしながら、前期にスポット案件として取り組んだ新型コロナウイルス感染症自宅療養者向け飲食料品供給の販売分を補うまでには至らず、販売が前期を下回りました。

その結果、当セグメントの売上高は45,205百万円(前期比96.9%)、セグメント利益2,899百万円(前期比72.1%)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(1) 流動資産

当連結会計年度における流動資産の残高は、80,452百万円（前連結会計年度75,796百万円）となり、4,656百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金2,547百万円、受取手形16百万円、売掛金707百万円、電子記録債権279百万円、商品及び製品992百万円、その他120百万円の増加によるものであります。

(2) 固定資産

当連結会計年度における固定資産の残高は、22,248百万円（前連結会計年度22,392百万円）となり、143百万円減少いたしました。これは主に、リース資産（純額）17百万円、無形固定資産その他93百万円、投資有価証券483百万円の増加及び建物及び構築物（純額）284百万円、有形固定資産その他（純額）71百万円、無形固定資産リース資産26百万円、繰延税金資産327百万円の減少によるものであります。

(3) 流動負債

当連結会計年度における流動負債の残高は、17,377百万円（前連結会計年度10,800百万円）となり、6,576百万円増加いたしました。これは主に、買掛金439百万円、1年内返済予定の長期借入金6,600百万円の増加及びリース債務19百万円、未払法人税等167百万円、その他277百万円の減少によるものであります。

(4) 固定負債

当連結会計年度における固定負債の残高は、1,040百万円（前連結会計年度7,683百万円）となり、6,643百万円減少いたしました。これは主に、リース債務10百万円の増加及び長期借入金6,600百万円、その他15百万円の減少によるものであります。

(5) 純資産

当連結会計年度における純資産の残高は、84,284百万円（前連結会計年度79,704百万円）となり、4,579百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益5,784百万円、その他有価証券評価差額金303百万円、繰延ヘッジ損益417百万円、為替換算調整勘定159百万円、退職給付に係る調整累計額50百万円、非支配株主持分79百万円、新株予約権174百万円の増加及び剰余金の配当2,389百万円の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,121	5,377	△1,744
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304	△1,309	△1,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,860	△2,726	134
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,058	1,547	△2,511
現金及び現金同等物の期末残高	52,639	54,187	1,547
借入金の期末残高	6,600	6,600	—
総資産	98,188	102,701	4,512
純資産	79,704	84,284	4,579

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は54,187百万円となり、前連結会計年度末より1,547百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は5,377百万円（前期は7,121百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益8,412百万円、減価償却費803百万円、株式報酬費用174百万円、仕入債務の増加額376百万円、利息及び配当金の受取額284百万円による増加及び売上債権の増加額940百万円、棚卸資産の増加額974百万円、法人税等の支払額2,681百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は1,309百万円（前期は304百万円の減少）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入283百万円、貸付金の回収による収入13百万円の増加及び定期預金の預入による支出1,283百万円、有形固定資産の取得による支出68百万円、無形固定資産の取得による支出231百万円、投資有価証券の取得による支出22百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2,726百万円（前期は2,860百万円の減少）となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出126百万円、配当金の支払額2,389百万円、非支配株主への配当金210百万円による減少によるものであります。

	第44期 2020年3月期	第45期 2021年3月期	第46期 2022年3月期	第47期 2023年3月期	第48期 2024年3月期
自己資本比率 (%)	84.3	78.0	79.8	79.4	80.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.2	69.9	54.9	67.4	70.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	20.9	81.9	142.7	98.7	130.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	2,035.1	2,998.7	1,001.5	1,424.4	1,072.8

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

5. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

6. 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式を除く発行済株式数により算出しております。

7. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2025年3月期	110,000	9,000	9,100	6,000	175円74銭
2024年3月期	105,824	7,926	8,412	5,784	169円42銭
増減率 (%)	3.9	13.5	8.2	3.7	—

次期連結会計年度においては、引き続き、ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化、中国経済の低迷や各種コストの上昇、為替の円安相場により、商品の開発および調達コストの先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。このような状況下、当社グループの2025年3月期の経営方針として『100年続く経営土台を描こう!』を掲げました。通期の連結業績見通しとしては、売上高110,000百万円（前期比103.9%）、営業利益9,000百万円（前期比113.5%）、経常利益9,100百万円（前期比108.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益6,000百万円（前期比103.7%）を見込んでおります。

また、以上の環境変化を踏まえて、2024年5月9日に発表いたしましたとおり、「ドウシヤグループ中期経営計画（2022年度（47期）から2024年度（49期））」の見直しを行いました。2022年5月に発表いたしました「ドウシヤグループ中期経営計画」に掲げる「成長戦略」「BS戦略」「ESG戦略」の3つの重点戦略に変更はありませんが、今後の事業環境の見通しおよび足元の業績動向を踏まえて、2025年3月期は事業環境の変化に対して、機動的な事業体制の再構築および事業基盤の更なる強化に注力いたします。そのため、定量目標に掲げる連結経常利益100億円の達成年度を1年間延長することといたしました。なお、売上高目標については、現在の為替の円安相場等の影響に耐えうる高収益体質を目指すため、より収益性の高い商品の開発および調達にシフトすべく、一旦、除外することといたしました。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、積極的かつ安定的な配当の維持継続や市場環境・資本効率を勘案した自己株式の取得を実施していくとともに、社員の成果に対する報酬制度も考慮し、経営環境の変化に対応できる企業体質の強化と将来の新規事業展開に備えて、内部留保にも配慮していく所存であります。

今後も引き続き、業績向上と財務体質の強化を図りながら経営基盤を強化し、株主の皆様のご期待に沿うべく努力してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,639	55,187
受取手形	255	271
売掛金	13,015	13,722
電子記録債権	1,196	1,476
商品及び製品	7,896	8,889
短期貸付金	12	5
その他	780	900
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,796	80,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,882	13,980
減価償却累計額	△5,781	△6,163
建物及び構築物 (純額)	8,100	7,816
土地	9,385	9,385
リース資産	974	1,089
減価償却累計額	△587	△684
リース資産 (純額)	387	404
建設仮勘定	13	—
その他	2,255	2,343
減価償却累計額	△1,875	△2,034
その他 (純額)	379	308
有形固定資産合計	18,266	17,914
無形固定資産		
リース資産	45	18
その他	309	402
無形固定資産合計	354	421
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,683
長期貸付金	7	1
繰延税金資産	452	124
その他	1,118	1,109
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	3,771	3,912
固定資産合計	22,392	22,248
資産合計	98,188	102,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,047	6,487
1年内返済予定の長期借入金	—	6,600
リース債務	118	99
未払法人税等	1,530	1,363
役員賞与引当金	63	58
賞与引当金	5	11
その他	3,034	2,756
流動負債合計	10,800	17,377
固定負債		
長期借入金	6,600	—
リース債務	313	324
退職給付に係る負債	677	641
資産除去債務	10	10
繰延税金負債	10	6
その他	72	57
固定負債合計	7,683	1,040
負債合計	18,484	18,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	71,614	75,008
自己株式	△5,105	△5,105
株主資本合計	77,775	81,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	536
繰延ヘッジ損益	△270	146
為替換算調整勘定	245	404
退職給付に係る調整累計額	△24	26
その他の包括利益累計額合計	182	1,114
新株予約権	135	309
非支配株主持分	1,610	1,690
純資産合計	79,704	84,284
負債純資産合計	98,188	102,701

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	105,709	105,824
売上原価	77,043	75,939
売上総利益	28,666	29,884
販売費及び一般管理費	20,613	21,958
営業利益	8,052	7,926
営業外収益		
受取利息及び配当金	156	286
債務勘定整理益	11	6
為替差益	29	106
関係会社受取業務管理料	5	5
助成金収入	4	1
その他	103	108
営業外収益合計	310	514
営業外費用		
支払利息	4	5
支払手数料	5	3
解約違約金	—	5
その他	10	14
営業外費用合計	20	28
経常利益	8,342	8,412
税金等調整前当期純利益	8,342	8,412
法人税、住民税及び事業税	2,657	2,520
法人税等調整額	△61	△16
法人税等合計	2,596	2,504
当期純利益	5,746	5,908
非支配株主に帰属する当期純利益	124	124
親会社株主に帰属する当期純利益	5,621	5,784

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,746	5,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	303
繰延ヘッジ損益	△478	417
為替換算調整勘定	124	324
退職給付に係る調整額	△3	50
その他の包括利益合計	△181	1,097
包括利益	5,564	7,005
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,380	6,715
非支配株主に係る包括利益	183	289

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	68,054	△4,459	74,861
当期変動額					
剰余金の配当			△2,061		△2,061
親会社株主に帰属する当期純利益			5,621		5,621
自己株式の取得				△646	△646
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,560	△646	2,913
当期末残高	4,993	6,273	71,614	△5,105	77,775

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	56	207	180	△21	423	—	1,427	76,712
当期変動額								
剰余金の配当								△2,061
親会社株主に帰属する当期純利益								5,621
自己株式の取得								△646
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	175	△478	64	△3	△241	135	183	77
当期変動額合計	175	△478	64	△3	△241	135	183	2,991
当期末残高	232	△270	245	△24	182	135	1,610	79,704

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	71,614	△5,105	77,775
当期変動額					
剰余金の配当			△2,389		△2,389
親会社株主に帰属する当期純利益			5,784		5,784
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,394	△0	3,394
当期末残高	4,993	6,273	75,008	△5,105	81,169

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	232	△270	245	△24	182	135	1,610	79,704
当期変動額								
剰余金の配当								△2,389
親会社株主に帰属する当期純利益								5,784
自己株式の取得								△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	303	417	159	50	931	174	79	1,185
当期変動額合計	303	417	159	50	931	174	79	4,579
当期末残高	536	146	404	26	1,114	309	1,690	84,284

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,342	8,412
減価償却費	752	803
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	37
株式報酬費用	135	174
受取保険金	—	△0
助成金収入	△4	△1
受取利息及び受取配当金	△156	△286
支払利息	4	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△14	△940
棚卸資産の増減額 (△は増加)	144	△974
仕入債務の増減額 (△は減少)	128	376
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9	114
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△29	△14
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△36	53
その他	22	18
小計	9,302	7,776
利息及び配当金の受取額	156	284
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△2,335	△2,681
保険金の受取額	—	0
助成金の受取額	4	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,121	5,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,283
定期預金の払戻による収入	—	283
有形固定資産の取得による支出	△199	△68
無形固定資産の取得による支出	△82	△231
投資有価証券の取得による支出	△21	△22
投資有価証券の売却による収入	—	2
貸付金の回収による収入	13	13
その他の支出	△17	△8
その他の収入	2	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304	△1,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△646	△0
リース債務の返済による支出	△153	△126
配当金の支払額	△2,060	△2,389
非支配株主への配当金の支払額	—	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,860	△2,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,058	1,547
現金及び現金同等物の期首残高	48,581	52,639
現金及び現金同等物の期末残高	52,639	54,187

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、機能別のセグメントから構成されており、経済的特徴及び製品等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「開発型ビジネスモデル」及び「卸売型ビジネスモデル」の2つを報告セグメントとしております。

「開発型ビジネスモデル」は自社で商品企画から開発、販売までを手掛ける「メーカー機能」のビジネスであり、家電・家庭用品、収納関連、衣料、食品・酒類等があります。

「卸売型ビジネスモデル」は国内外のメーカーから商品を仕入れて販売する「調達・加工機能」のビジネスであり、時計や鞆関連を中心とした海外の「有名ブランド品」と、自社オリジナルのアソートギフトを中心とした「NB加工品」に大別されます。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸表 計上額(注) 5
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	54,777	46,654	101,431	4,120	105,551	—	105,551
その他の収益	—	—	—	158	158	—	158
外部顧客への 売上高	54,777	46,654	101,431	4,278	105,709	—	105,709
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	8,282	8,282	△8,282	—
計	54,777	46,654	101,431	12,560	113,992	△8,282	105,709
セグメント利益	3,949	4,019	7,969	718	8,688	△635	8,052
セグメント資産	14,576	7,787	22,363	7,931	30,294	67,894	98,188
その他の項目							
減価償却費	2	—	2	126	129	623	752

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△635百万円は、セグメント間取引の消去96百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△545百万円及びその他調整額△186百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額67,894百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,325百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産69,951百万円及びその他調整額268百万円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額623百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸表 計上額 (注) 5
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	56,879	45,205	102,084	3,594	105,678	—	105,678
その他の収益	—	—	—	145	145	—	145
外部顧客への 売上高	56,879	45,205	102,084	3,739	105,824	—	105,824
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	7,958	7,958	△7,958	—
計	56,879	45,205	102,084	11,698	113,783	△7,958	105,824
セグメント利益	5,085	2,899	7,985	763	8,749	△823	7,926
セグメント資産	15,979	8,703	24,682	8,285	32,968	69,733	102,701
その他の項目							
減価償却費	3	—	3	174	178	625	803

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△823百万円は、セグメント間取引の消去70百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円及びその他調整額△374百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額69,733百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,268百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産71,158百万円及びその他調整額843百万円が含まれております。
4. 減価償却費の調整額625百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,283円42銭	2,410円12銭
1株当たり当期純利益	164円34銭	169円42銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	167円31銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,621	5,784
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,621	5,784
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,204	34,140
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	5,784
普通株式増加数(千株)	—	430
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかつた潜在株式で、前連結会計年度末 から重要な変動があつたものの概要	2022年6月29日定時株主総会決議 ストック・オプション (新株予約権の数19,600個)	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,792	50,665
受取手形	141	134
電子記録債権	904	1,135
売掛金	11,805	12,463
商品及び製品	7,124	8,120
前渡金	378	440
前払費用	65	68
その他	315	416
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	69,528	73,444
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,710	6,432
構築物	191	173
機械及び装置	59	55
車両運搬具	1	0
工具、器具及び備品	129	87
土地	6,601	6,601
リース資産	331	317
建設仮勘定	28	—
有形固定資産合計	14,053	13,668
無形固定資産		
借地権	14	14
商標権	7	5
ソフトウェア	160	324
リース資産	45	15
その他	66	7
無形固定資産合計	292	368
投資その他の資産		
投資有価証券	1,800	2,257
関係会社株式	1,664	1,664
従業員に対する長期貸付金	2	1
関係会社長期貸付金	1,573	1,365
破産更生債権等	7	5
長期前払費用	19	8
繰延税金資産	386	118
その他	1,069	1,071
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	6,516	6,487
固定資産合計	20,862	20,524
資産合計	90,390	93,968

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,795	5,241
1年内返済予定の長期借入金	—	6,600
リース債務	91	72
未払金	2,022	2,157
未払費用	264	277
未払法人税等	1,321	1,139
前受金	151	22
預り金	55	61
前受収益	13	13
役員賞与引当金	60	52
その他	375	82
流動負債合計	9,149	15,720
固定負債		
長期借入金	6,600	—
リース債務	285	261
退職給付引当金	600	639
資産除去債務	10	10
その他	72	57
固定負債合計	7,568	969
負債合計	16,717	16,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金		
資本準備金	5,994	5,994
その他資本剰余金	279	279
資本剰余金合計	6,273	6,273
利益剰余金		
利益準備金	166	166
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	13	12
別途積立金	56,600	59,600
繰越利益剰余金	10,550	10,371
利益剰余金合計	67,329	70,149
自己株式	△5,105	△5,105
株主資本合計	73,490	76,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	231	534
繰延ヘッジ損益	△184	124
評価・換算差額等合計	46	659
新株予約権	135	309
純資産合計	73,673	77,279
負債純資産合計	90,390	93,968

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	96,149	96,235
売上原価		
商品期首棚卸高	6,960	7,124
当期商品仕入高	69,823	69,730
合計	76,784	76,855
商品期末棚卸高	7,124	8,120
商品売上原価	69,659	68,735
売上総利益	26,489	27,500
販売費及び一般管理費	19,425	20,692
営業利益	7,064	6,808
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	840	449
債務勘定整理益	11	6
関係会社受取業務管理料	19	20
為替差益	0	1
助成金収入	4	1
その他	75	87
営業外収益合計	958	575
営業外費用		
支払利息	4	5
支払手数料	5	3
解約違約金	—	5
その他	4	7
営業外費用合計	15	22
経常利益	8,008	7,361
税引前当期純利益	8,008	7,361
法人税、住民税及び事業税	2,344	2,153
法人税等調整額	△45	△1
法人税等合計	2,298	2,151
当期純利益	5,709	5,210

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
						圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	14	53,600	9,901
当期変動額								
剰余金の配当								△2,061
圧縮記帳積立金の取崩						△1		1
別途積立金の積立							3,000	△3,000
当期純利益								5,709
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1	3,000	649
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	13	56,600	10,550

	株主資本			評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
	利益剰余金合計							
当期首残高	63,681	△4,459	70,489	56	184	240	—	70,730
当期変動額								
剰余金の配当	△2,061		△2,061					△2,061
圧縮記帳積立金の取崩	—		—					—
別途積立金の積立	—		—					—
当期純利益	5,709		5,709					5,709
自己株式の取得		△646	△646					△646
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				175	△369	△194	135	△58
当期変動額合計	3,648	△646	3,001	175	△369	△194	135	2,942
当期末残高	67,329	△5,105	73,490	231	△184	46	135	73,673

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
					圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	13	56,600	10,550
当期変動額								
剰余金の配当								△2,389
圧縮記帳積立金の取崩						△0		0
別途積立金の積立							3,000	△3,000
当期純利益								5,210
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△0	3,000	△178
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	12	59,600	10,371

	株主資本			評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
	利益剰余金合計							
当期首残高	67,329	△5,105	73,490	231	△184	46	135	73,673
当期変動額								
剰余金の配当	△2,389		△2,389					△2,389
圧縮記帳積立金の取崩	-		-					-
別途積立金の積立	-		-					-
当期純利益	5,210		5,210					5,210
自己株式の取得		△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				303	308	612	174	786
当期変動額合計	2,820	△0	2,820	303	308	612	174	3,606
当期末残高	70,149	△5,105	76,311	534	124	659	309	77,279

5. その他

(1) 役員の変動

1. 代表者の変動

該当事項はありません。

2. その他役員の変動

・新任取締役候補

新役名	氏名	就任予定日
(社外) 取締役	越知 覚子	2024年6月27日

当事業年度の第3四半期報告書の提出後、当決算短信の提出日までの取締役及び執行役員の変動は次のとおりであります。

・役職の変動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役兼常務執行役員 経営企画、人事企画、EC事業推進担当役員、社長室長、IR広報担当兼経営企画部 ダイレクター	取締役兼常務執行役員 経営企画、人事企画、EC事業戦略担当役員、社長室長、IR広報担当	小柳 伸成	2024年1月1日
取締役兼常務執行役員 財務経理、貿易業務担当役員	取締役兼常務執行役員 財務経理、貿易業務、業務管理担当役員	松本 崇裕	2024年2月1日
執行役員 業務管理部担当役員兼 セールスサポートセンター 統括ダイレクター	執行役員 セールスサポートセンター 統括ダイレクター	百瀬 静香	2024年2月1日
常務執行役員 第2事業本部長兼家電事業部 長	常務執行役員 第2事業本部長	井下 主	2024年3月7日

(2) その他

該当事項はありません。